

# 株式会社鈴生における第2回農作業安全現場改善研修会

## 開催報告

### <開催概要>

#### 1. 趣 旨

農作業の事故防止を図るため、農業法人の経営者から従業員を対象として、農業法人の実際の農業現場に農作業安全等の専門家を派遣し、労働安全及び農作業事故事例に基づく原因と対策等について理解を深めるとともに、具体的な現場改善策（ルールづくり）に資する研修会を開催する。

#### 2. 日 時

令和2年3月11日（水）13:00～16:00

#### 3. 場 所

株式会社モスファームすずなり事務所

#### 4. 研修内容

- ①現場点検（農機格納庫など）
- ②グループミーティング・意見交換

#### 5. 参加者

- ・株式会社鈴生グループ従業員・関係農家 16名（男性15名、女性1名）
- ・一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会 静岡支部  
労働安全衛生コンサルタント（農作業安全アドバイザー） 川瀬 幸嗣
- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業技術革新工学研究センター  
安全工学研究領域 安全技術ユニット ユニット長 積 栄
- ・（一社）全国農業改良普及支援協会 主幹 松本 一成
- ・（公社）日本農業法人協会 経営支援課 調査役 高崎 政樹

## <研修内容>

### (1) 現場点検

格納庫にて収穫機や刈払機、ビニール等資材の格納状況、利用する時に注意する点等の意見交換を行った。参加者より豆の収穫機では「後退する時にはクラクションを鳴らすようにしている」との話があり、講師より「機械の構造上の問題であるが高温になるボイラー部分がむき出しになっているし、乗降時の足場が狭く、凹凸もないため、滑りやすいので、使用者側の注意が必要。」と指摘があった。



指摘のあった豆の収穫機

### (2) グループディスカッション・意見交換

5人程度の班に分かれ、「私の農作業安全宣言チェックシート」を基に、事故防止のために「まずはこれをやろう」という項目について話し合っていた。

最後に班ごとに発表していただき、「機械作業をする時は、周りに人がいないことを確認する」や「防草シートを利用し、草刈り自体をなくす」などの宣言がなされた。



私の農作業安全宣言シート



グループディスカッション風景

## <事務局所感>

当社での開催は昨年からの引き続きとなったが、昨年からの改善点、日頃の業務の中で気づいた点、工夫している点等について意見交換を行った。

企業風土として、風通しがよく農作業安全に限らず、日頃の業務の改善点について言い合える環境ができていると感じた。

グループディスカッションを通して、宣言していただいた項目から始めていただき、その項目も1つずつ増やしていくと同時にそれを当たり前の状態にしていくことが期待される。